

## 7 シーリング

### 7-1 推奨シーリング

・純正のアイジーシーリング「エコシーリング」以外に、下記のシーリングが使用できます。

#### 1成分形変成シリコーン系

メーカー名	商品名	備考
サンスター技研株式会社	ペンギンシール2550HM	1成分形、変成シリコーン系
コニシ株式会社	ボンド 変成シリコンコーク	1成分形、変成シリコーン系
	ボンド マルチコーク	1成分形、変成シリコーン系

・環境の厳しい地域では、シーリング材の接着性を上げるため、各メーカー推奨のプライマーをご使用ください。  
・SF-ガルステージシャインJのFクールホワイトは、純正のエコシーリングをご使用ください。

#### 2成分形変成シリコーン系

メーカー名	商品名	対応プライマー
サンスター技研株式会社	ペンギンシールMS2500 (NBタイプ)	表-1参照
シーカ・ジャパン株式会社	SC-MS2NB/SUPER II	No.18
コニシ株式会社	ボンドMSシール	ボンドシールプライマー#38

表-1

使用部位	対応プライマー
サイディング、部材、サッシの取り合いなど	SS-2
セメント系材料との取り合いなど	UM-2

## 8 取り扱い時のお願い

### 8-1 取り扱い時の注意

アイジーサイディングは壁材です。壁以外の部位に使用しないでください。

⊗ 警告：死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

1. 強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。風にあおられる、雨にあおられる、雨や雪ですべるなどの原因で、落下事故の可能性があります。
2. 高所作業は関係法規に従ってください。事故の可能性があります。
3. アイジーサイディングは、電線に接触すると感電する可能性があります。電気配線に注意し、感電防止策を講じてください。

⚠ 注意：取り扱いをあやまると障害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

#### ●設計上の注意

- ・傾斜のあるパラペットへ使用しないでください。漏水の原因となります。
- ・指定の張り方向以外では使用しないでください。斜めに張る、またはたて張り専用の商品をよこ張りで張るなどは、漏水の原因となります。
- ・乱張り施工をしないでください。千鳥調に張るなどの行為は、漏水の原因となります。
- ・曲面壁へ施工しないでください。曲面壁に施工すると、耐風圧強度の低下や、かん合部からの漏水を招くおそれがあります。
- ・異種金属との取り扱いには注意してください。銅屋根などの異種金属からの雨水が接触すると電食が起こる場合があります。また、ステンレス製の付帯物などの異種金属が直接接触すると電食が起こる場合がありますので、ご注意ください。
- ・タイルなどの直張り、セメントスタッコなどの上塗りをしないでください。剥離や脱落の原因となります。
- ・常に高温の環境下にある煙突や暖炉などの部分に使用しないでください。変形や反り、耐久性が低下する原因となります。防火のため、取り扱い部はめがね石などを使用してください。
- ・常時水や蒸気のかかる温泉地帯や風呂場などで使用しないでください。熱の影響により耐久性が低下する原因となります。
- ・局所的に強い光が当たり、表面温度が著しく上昇するような環境は避けてください。製品が変形するおそれがあります。
- ・アイジーサイディングに雪が当たらないよう積雪を考慮した対処をしてください。特に積雪の影響を受けやすい土台部・下屋見切り部は、縦用スターター15が変形するおそれがあるため、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします。
- ・開口部下は雨垂れによる汚れが目立つ場合があります。必要に応じて窓下水切などの使用をご検討ください。
- ・防水紙は、アスファルトフェルト430以上を使用してください。
- ・建築基準法及び関係法規に適合した設計を行ってください。

#### ●運搬・保管上の注意

- ・1ケースあるいは開梱した本体を手で持つ際には、小端立てにして運んでください。運搬に必要な人数は、6m未満は2人以上、6m以上は3人を目安にしてください。
- ・屋外に保管する際は、パレットあるいはりん木の上に合板を重ねた水平面に置き、さらに防水シートなどで覆ってください。
- ・ロープの締め付けが強すぎるとアイジーサイディングの破損につながるおそれがありますので、過度の締め付けを避けるとともに角部には当て板を入れてください。
- ・アイジーサイディングの上に人が乗ったり、重量物を載せたりしないでください。

7

シーリング

8

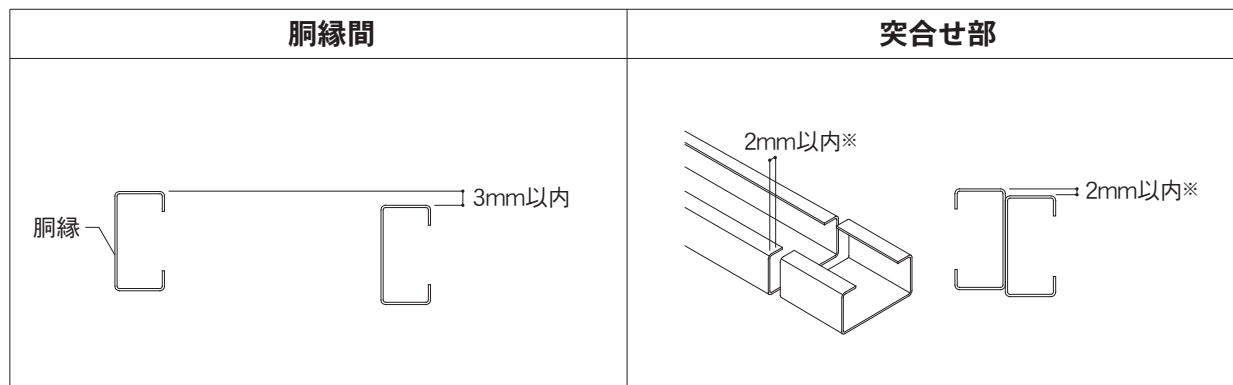
取り扱い時のお願い

## ●安全作業上の注意

- ・取り扱いの際は、ゴム付き手袋や保護メガネなどの保護具を着用してください。けがをすることがあります。
- ・現場加工時、鋼板の切断面に生じたバリは取り除いてください。けがをすることがあります。
- ・溶接の炎、火花などが当たると商品を傷めたり、火災のおそれがありますので、養生するなど特に注意してください。
- ・真夏の日射が強いときは、表面鋼板の温度が高くなり、やけどのおそれがありますので注意してください。
- ・アイジーサイディングを安全に使用・取り扱いをするため、安全データシート（SDS）を事前に確認してください。  
SDSは、弊社ホームページに掲載しております。

## ●施工上の注意

- ・基礎モルタルにアイジーサイディングを埋め込んで施工しないでください。モルタルなどが付着した場合は、速やかに除去してください。
- ・土台部やたてつなぎ（中間水切）などで本体の端部をあらわしで納める際は、しん材の吸水を防ぐため、本体の下部からしん材を10mm程度取り除いてください。
- ・表面鋼板のすりキズ防止のため、本体の裏面側（アルミライナー紙側）を上にして切断してください。なお、本体形状に応じて本体を安定した状態にして切断してください。
- ・開口部などで本体を切り欠いて施工する場合は、本体を変形させるような無理なはめ込みはさけてください。しん材や裏面材が破損した本体は使用しないでください。時間の経過とともに表面の変形が大きくなるおそれがあります。
- ・部材のみで本体を固定しないでください。本体の脱落の原因となるため必ず留め具で留め付けてください。
- ・さびの原因になりますので、アイジーサイディングを切断した際に出る切粉はハケなどで払ってください。
- ・本体を切り欠き加工すると強度が低下して破損しやすくなります。本体を切り欠いて使用する場合は、本体がゆがまないように、切り欠いた部分に補強板（面材など）を当てて運搬してください。また、しん材や裏面材が破損した本体は使用しないでください。
- ・キャップ系部材はそれぞれの専用下地または捨板に正しくはめてください。正しくはめられていないと脱落のおそれがあります。また、建物の高さが13mを超える部分に使用する場合は、脱落防止のため脳天ビス留めをしてください。  
キャップ系部材：出隅キャップ、段出隅、入隅キャップ、止縁キャップ、段キャップ、フラットTキャップ、ワンタッチHキャップ
- ・アイジーサイディングの施工後に、電気機器や縦樋などの後付け部材を施工する際は、アイジーサイディングに直接取り付けず、必ず下地材に固定してください。脱落や破損する可能性があります。
- ・本体を施工する前に胴縁の不陸を確認し調整をしてください。鉄骨下地の胴縁は胴縁間を3mm以内、突合せ部は2mm以内としてください。



※SP-ガルブライトは1.5mm以内

## ●シーリング工事の注意

- ・純正のアイジーシーリング「エコシーリング」または、推奨品を使用してください。推奨品は、P88を参照ください。
- ・環境の厳しい地域では、シーリング材の接着強度を上げるため、プライマーの使用を推奨します。
- ・エコシーリングホルダーは、エコシーリングを施工する際に必要です。エコシーリングホルダーは、繰り返し使用できます。
- ・本体と部材のすき間から雨水の浸入を防ぐため、必ず指定の位置にシーリング材を施工してください。
- ・シーリング材はしん材には接着しません。切断面にシーリング材を施工する場合には、必ず表面材に箱折加工を施してください。
- ・接着不良の原因となりますので、気温5℃以下でのシーリング工事は避けてください。
- ・樹脂サッシプライマーを施工する際は、サッシメーカーに施工可能かお問い合わせください。
- ・推奨プライマー以外の使用は、商品の表面塗装を傷めるおそれがあります。
- ・シーリング材の被着面以外にプライマーが付着しないように注意してください。商品に付着したプライマーの除去作業により、表面塗装を傷めるおそれがあります。
- ・シーリング材が薄い箇所は劣化が早く進みシーリング切れの原因となります。シーリング材のこまめな点検、補修をしてください。

## ●補修上の注意

- ・タッチアップペイントは、ごく狭い範囲の軽微なキズの補修に使用します。本体や部材の変形を伴うキズや広範囲にわたる塗装には使用しないでください。
- ・塗装場所の気温が著しく低い場合（5℃以下）や、降雨及び降雪があり、被塗面が濡れる場合は補修を避けてください。
- ・補修塗装を行う際は、水または中性洗剤（1～2%水溶液）で、表面の汚れや油分などを除去し、十分な水洗いを行い、乾いた布で水分をよく拭き取ってから行ってください。
- ・商品表面のキズの補修には、必ず純正のタッチアップペイントを用い、製品安全データシート（SDS）に従って正しく使用してください。
- ・タッチアップペイントは、使用前によく攪拌してから使用してください。カタカタという音がしてから30秒以上振り、よく攪拌してください。
- ・タッチアップペイントは、常乾タイプの塗料です。商品とは塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・事前に商品の端材などで試し塗りをし、色調の確認を行ってください。
- ・遮熱性フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板の商品にタッチアップペイントで補修する場合は目荒らしが必要です。補修するすりキズ部分に、砂消しゴムなどを使用して目荒らしをしてください。目荒らしを行わない場合、タッチアップペイントと鋼板の塗膜に密着性が得られませんので注意してください。
- ・補修した部分に水が関与すると白化や、艶の低下の原因になりますので作業の際は以下の注意事項を確認してください。
  - ①塗装後、降雨、降雪、結露が予想される場合や高湿度時の塗装は避けてください。
  - ②気温が低くなると乾燥が極端にしにくくなります。夕方まで表面が乾くように作業時間を調整してください。急ぎの作業の際は、ドライヤーなどで補修部分を完全に乾燥させてください。
- ・広範囲にわたったすりキズや、鋼板が変形してしまった損傷の場合は、サイディング本体の交換を実施してください。やむを得ず広範囲にわたる補修塗装を行う際は、専門の塗装業者に依頼してください。
- ・現場塗装用の塗料は、現場で手配願います。

## ●汚れの除去方法

- ・サイディング本体表面に汚れが付着したときは、以下の手順でクリーニングしてください。
  1. 柔らかい布などでから拭きしてください。
  2. 1.で汚れが落ちないとき、水または温水（ぬるま湯程度）で洗浄してください。
  3. 2.で汚れが落ちないとき、中性洗剤（1～2%水溶液）で洗浄してください。
  4. 3.で汚れが落ちないとき、サイディング本体の交換を実施してください。



### ●美しさを長持ちさせるために

- ・大気中には、サイディング表面基材の腐食の原因となる様々な要因が含まれています。酸性度の高い水分との接触や、付着水分の蒸発による酸性成分の濃縮など、腐食の原因物質と表面基材の接触により表面塗膜の耐久性の低下を招き、さびの発生に至る場合があります。このような現象の発生を防ぐために定期的なお手入れを実施してください。
- ・壁の汚れの状況に応じて、サイディング表面を洗浄してください。特に、海岸地帯や工業地帯では洗浄回数を増やしてください。
- ・軒下など、雨水で塵汚れなどが洗われない部分は、塵などが原因で腐食が発生する場合がありますので、入念な洗浄をお勧めします。
- ・表面塗色については、適宜点検してください。変化が著しく、白亜化現象が現れた時には、再塗装を実施してください。
- ・強くこすったり、硬いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面にキズが付き腐食を招くおそれがあります。
- ・クレンザーなど研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・褪色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・シンナーなどは塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・中性洗剤を使用した後は、十分な水洗いを行い、薬剤を洗い流してください。
- ・洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・高圧洗浄機は、サイディングの変形・漏水などの原因となりますので使用しないでください。

### ●その他

- ・点検・補修・洗浄などの際は、サイディング本体表面にキズが付かないよう十分に注意してください。特にハシゴなどをサイディング本体表面に直接立て掛けると、キズや変形の原因となります。必ず当て板などで保護してください。
- ・本体の裏面（アルミライナー紙）にしわや凹凸が発生している場合がありますが、商品の性能に影響はありません。
- ・日射による熱の影響で、朝・夕の温度変化時に、表面鋼板の伸縮により、かん合などから音が発生する場合があります。

### 【取り扱い時の注意 SP-ガルブライト特記】

SP-ガルブライトは表面がフラットです。光の具合によって表面の歪みや下地の跡が強調される場合があります。以下の注意事項を確認いただき、取り扱いには十分に注意してください。

- ①本体を取り扱う際は、きれいな手袋などを使用し、汚れやキズがつかないように注意してください。
- ②本体を運搬する際は、無理な力がかからないように丁寧に運搬してください。
- ③本体を施工する前に胴縁の不陸を確認し調整をしてください。鉄骨3mm以内。突合せ部1.5mm以内。
- ④本体を施工する際は、割り付けを行って本体に無理な力がかからないようにしてください。無理に押し込むと歪みの原因になります。
- ⑤本体の強度が著しく低下し、変形するおそれがありますので、本体の両側からの切り欠き加工は行わないでください。
- ⑥開口部など本体を切り欠いて施工するときは、本体の裏面にしわが入ったり歪んだりしないよう、切り欠いた部分に補強材（面材など）を当てて運搬してください。また、しん材や裏面材が破損した本体は使用しないでください。
- ⑦本体のかん合部を切り欠いた箇所では、下穴をあけてから脳天打ちをしてください。留め具は打ち込みすぎないでください。
- ⑧キズを補修する際は、純正のタッチアップペイントを薄く重ね塗りすることを推奨します。補修部分は目立ちますので、できるだけ丁寧な取り扱いをお願いします。

### お願い

●本設計資料に掲載している商品仕様、各種データなどを予告なく変更する場合があります。最新の情報につきましては弊社担当営業までお問い合わせください。

## 8-2 外壁を美しく保つために

### ■維持管理の目的

大気中にはアイジーサイディングの表面基材の腐食の原因になるさまざまな要因が含まれています。自動車の排気ガス、工場からの排煙、海岸地帯の海塩粒子、凍結防止剤など、多種多様な要因があります。近年、環境公害のひとつとして酸性雨問題があります。酸性度の強い水分との接触や付着水分の蒸発、濃縮により、表面塗膜の耐久性の低下やさびの発生に至る場合があります。住宅の長寿命化を実現するためのひとつとして、アイジーサイディングの適切なメンテナンスが重要であり、外壁の性能を維持するために定期的な維持管理をお勧めします。

### ●メンテナンススケジュール（モデルケース）

こまめにお手入れをし、傷みを早めに補修することで外壁を長持ちさせ、建物を守ります。

施工後年数		5年	10年	15年	20年	25年	30年～
1. クリーニング		年数回					
2. 日常点検		年1回程度					
3. 定期点検		■	■	■	■	■	■
メン テ ナ ン ス	遮熱性フッ素樹脂塗装 SF-ガルステージシャイン					■	■
	ポリエステル樹脂塗装 SP-ガルスパン SP-ガルブライト 銘壁				■	■	■
	シーリング		■	■	■	■	■

...塗り替え<sup>※1</sup>
 ...張り替え<sup>※2</sup>
 ...部分補修・打ち替え

塗り替えは、表面状態を確認の上で判断してください。変色が著しく、白亜化が現れた状態が塗り替え時期とみなせます。

### 【注意 !!】

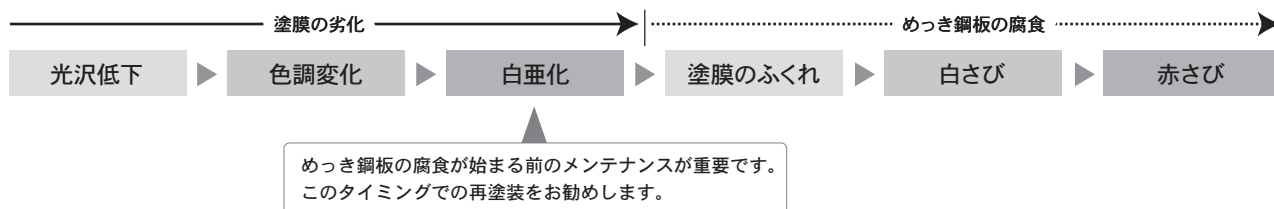
- ・メンテナンススケジュールは目安であり、メンテナンス時期を保証するものではありません。地域や環境により表面劣化の進行状況が異なります。
- ・メンテナンス時期は、本体平面部について適用するものであり、加工部、端部及び部材は除きます。

※1 2回目以降の塗り替え時期は塗料タイプにより異なります。使用される環境、耐用年数などを検討の上、専門業者様とご相談ください。

※2 張り替え時期については、専門業者様に建物全体の躯体状況を確認の上、総合的に判断してください。

### ■塗膜の耐久性について

塗膜は、太陽光線、雨（水）、大気中の酸素、腐食性因子（塩素イオン、酸性イオンなど）により劣化します。その過程において塗膜の白亜化が発生します。白亜化（チョーキング）とは、塗膜表面の樹脂が無くなり顔料が表面に粉状に現れ、触ると手に付く現象をいいます。白亜化の後に、めっき鋼板の腐食が始まります。劣化の経時変化は下記のように進みます。



## ■ クリーニング

外壁を美しく保つために、年に数回の水洗いをしてください。

アイジーサイディングは、めっき鋼板の中でも耐久性に優れたガルバリウム鋼板を使用しております。しかしながら、汚染物質の長期付着により、数年で表面にシミや白さび・黒さびが発生した例が報告されております。これらの現象は外壁材の機能上支障をきたすものではありませんが、外観が損なわれるため表面塗装の塗り替え時期を早めてしまいます。外壁表面に付着している大半の汚染物質は水洗いで落とすことができますので、立地条件に合わせた数回のクリーニングを行う事で、美しい外観を長期間保つことが可能となります。

### ● クリーニング回数を目安



大気汚染の状況に応じて、さらに年間の洗浄回数を増やすことをお勧めします。

### ● クリーニング方法

- 1 水洗いにより、塵や汚れを洗い落とし、柔らかいスポンジや布で十分に水洗いしてください。
- 2 水洗いで取れない汚れなどは、中性洗剤(1～2%の水溶液)を使用し、最後に水洗いしてください。

#### 【注意 !!】

- ・強くこすったり、固いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面にキズが付き腐食を招くおそれがあります。
- ・クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・褪色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・シンナーなどの有機溶剤やタイル洗浄剤などは塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・中性洗剤を使用した後は十分な水洗いを行い薬剤を洗い流してください。
- ・洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・高圧洗浄機などは、外壁材の変形、漏水の原因となりますので使用しないでください。



### ● クリーニングのポイント

塗膜の劣化や鋼板の腐食は、塵やほこり、酸性雨や酸性雪に含まれる自然からの汚染物質と、車や給湯器・暖房機などの排気・燃焼ガスによる汚染物質が、雨や水蒸気などにより外壁に滞留して進行します。よって、雨水が当たりにくく汚染物質が流れにくい部分や過度に汚れがひどい部分（下記参照）を重点的に洗浄すると効果的です。

#### 重点洗浄箇所

- |          |              |                    |
|----------|--------------|--------------------|
| ①軒       | ②庇の下         | ③アルコーブなどの内部に入り込んだ所 |
| ④窓脇、窓下など | ⑤フード、換気口などの下 |                    |

## ■ 日常点検

目視にて確認できる範囲で、年1回程度を目安にお施主様ご自身で行ってください。

- |          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| 本体の点検    | 商品本体にキズ、へこみ、浮きなどが目視で点検してください。         |
| 部材の点検    | 部材にキズ、へこみ、浮きなどが目視で点検してください。           |
| 塗膜の点検    | 塗装表面に白亜化、変色、さびなどが発生していないか目視で点検してください。 |
| シーリングの点検 | シーリングに剥離、亀裂などが発生していないか目視で点検してください。    |

- ・地震や台風の後には随時外装材の点検を行ってください。
- ・気になる不具合を発見した場合は、早めに施工店様にご相談の上、専門業者様に相談してください。(費用はお施主様負担となります。)

## ■ 定期点検

5年に1回を目安に専門業者様による点検を実施するようお願いします。  
(費用はお施主様負担となります。)

点検項目は、日常点検の項目を基本としたものになります。

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 本体、部材にキズ、へこみ、浮きを確認した場合 | ▶ 補修または、交換を行ってください。  |
| 変色、褪色を確認した場合           | ▶ 外壁材としての機能上支障はありませんが、美観の向上を図るためには再塗装を行ってください。               |
| 白さび、黒さびの発生を確認した場合      | ▶ さびを放置しますと、さびが進行して穴あきの原因となりますので、さびの部分を取り除いてから再塗装してください。     |
| シーリングに剥離、亀裂を確認した場合     | ▶ シーリングの部分補修または、打ち替えを行ってください。そのまま放置しますと、隙間より雨水が侵入するおそれがあります。 |

### 安全に関する注意

- ・お施主様ご自身で高所作業を伴う点検やお手入れは絶対に行わないでください。落下事故やけがの原因となります。
- ・点検は、外壁を目視で確認できる範囲にとどめてください。高所作業の場合は、専門業者様に相談してください。
- ・再塗装などの補修工事はお施主様ご自身では絶対に行わないでください。専門業者様に相談してください。
- ・点検、補修、洗浄などの際はサイディング本体表面にキズが付かないよう十分に注意してください。特にハシゴなどをサイディング本体表面に直接立て掛けると、キズや変形の原因となります。必ず当て布などで保護してください。
- ・雨などで濡れた屋根の上には絶対に乗らないでください。落下事故やけがの原因となります。

### 次のような場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

- ・施工店様による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者の維持管理の不注意・装置の取り付け・改修・改築により不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者または第三者の故意・過失などにより不具合が生じた場合。
- ・天変地異・周囲環境・大気汚染・塩害などの特殊環境下で不具合が生じた場合。
- ・通常の経年変化による変色・汚れなどが生じた場合。
- ・建物の構造体に起因した変形・変位が原因で不具合が生じた場合。
- ・シーリング部及び、現場塗装により不具合が生じた場合。
- ・本体、及び部材に付着した切屑・加工屑・落ち葉・動物の排泄物・粉塵などが原因で不具合が生じた場合。
- ・水が滞留する部分の塗膜損傷及び電食作用が原因で不具合が生じた場合。
- ・くぎ部のさびまたはもらいさび、及びカビによる汚染などが生じた場合。
- ・建築基準法及び、関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
- ・本来の目的以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。



# 各種カタログのご案内

お客様の要望に沿ったカタログをご用意しております。  
各種カタログはホームページからご請求ください。



## 専門業者様向け 総合カタログ



【掲載商品】  
アイジーサイディング  
アイジールーフ  
アイジーヴァンド

## 専門業者様向け アイジールーフ



【掲載商品】  
スーパーガルテクトフッ素  
スーパーガルテクト  
スーパーガルテクトC

## 専門業者様向け S造向け外壁材カタログ

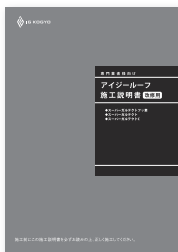


【掲載商品】  
アイジーヴァンド  
アイジーサイディング  
(S造防火対応商品)

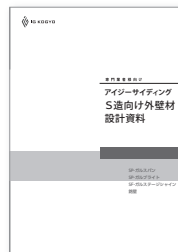
## 専門業者様向け アイジーサイディング 施工説明書 (木造新築用・改修用)



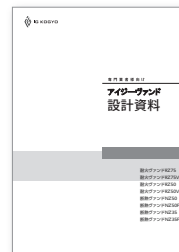
## 専門業者様向け アイジールーフ 施工説明書 (新築用・改修用)



## 専門業者様向け アイジーサイディング S造向け外壁材 設計資料



## 専門業者様向け アイジーヴァンド 設計資料



## SIMPLE MODERN SERIES



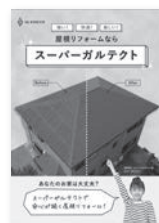
【掲載商品】  
アイジーサイディング  
(シンプルモダンシリーズ)

## SP-GALBOW



【掲載商品】  
アイジーサイディング  
(SP-ガルボウ)

## 屋根リフォームなら スーパーガルテクト



【掲載商品】  
アイジールーフ

## METAL WALL DESIGN

S造向け施工写真集



【掲載商品】  
アイジーヴァンド  
アイジーサイディング  
(S造防火対応商品)



アイジー工業株式会社

本 社	〒999-3716 山形県東根市蟹沢上縄目1816-12	TEL. 0237-43-1810	FAX. 0237-41-1810
東京営業所	〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル6F	TEL. 03-3556-0341	FAX. 03-3556-0342
札幌営業所	〒003-0026 北海道札幌市白石区本通19丁目南2-7 食糧ビル5F	TEL. 011-863-0303	FAX. 011-860-2084
盛岡営業所	〒020-0022 岩手県盛岡市大通3-3-10 七十七日生盛岡ビル7F	TEL. 019-605-8050	FAX. 019-605-8051
仙台営業所	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-12 L.Biz仙台5F	TEL. 022-292-5405	FAX. 022-292-5406
北関東営業所	〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-150-1 カネゲンビル6F	TEL. 048-658-1600	FAX. 048-658-1602
新潟営業所	〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口1-1-54 日生南笹口ビル6F	TEL. 025-240-6718	FAX. 025-240-6719
富山営業所	〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル3F	TEL. 076-443-8621	FAX. 076-443-8622
名古屋営業所	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-8-24 綿常第5ビル4F	TEL. 052-218-7885	FAX. 052-218-7886
大阪営業所	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町9-1 EDGE江坂11F	TEL. 06-6310-9076	FAX. 06-6310-9077
福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル2F	TEL. 092-474-5564	FAX. 092-474-5574

この設計資料に掲載の商品は専門施工を必要とします。施工は専門施工店にご依頼ください。  
商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

[www.igkogyo.co.jp](http://www.igkogyo.co.jp)

